

※ 本コラムは、共同通信社より配信されたものです。

女性比率を投資戦略に

利益、成長に期待

米ゼネラル・モーターズ（GM）に女性の最高経営責任者（CEO）が誕生して話題になりました。社会的責任投資（SRI）の世界でも、女性の投資家が目立ちます。

オランダのASN銀行は、預金者の60%が女性です。従業員全体の女性の比率もほぼ同じです。さらに融資部門のトップもグループ会社のSRIファンドの運用責任者も女性です。

オランダの公的年金は欧州ではいち早くSRIを始めました。年金基金の投資責任者や、アナリストが女性であることは珍しくありません。

オランダでは、3人の女性が未公開株への投資会社を設立し、注目されています。経営陣に占める女性の比率が25%以上の企業に投資するというユニークな手法で、資金を運用しているのです。投資額の25%以上の利益を出すことを目標にしている既にいくつかの企業への投資を始めました。経営者のボクステルさんは「博愛や慈善ではなく投資戦略としてこの手法を活用している」と話しています。

米コンサルタント会社マッキンゼー・アンド・カンパニーが279社を対象に調査したところ、経営陣に占める女性比率の高い企業への投資は、経営陣が男性だけの企業への投資よりも利益が約4割多かったそうです。

さらに別の調査会社によると、3人以上の女性が4年間以上、経営陣に在籍する企業への投資は経営陣が男性だけの企業への投資より6割以上も大きい利益を出したそうです。米国などの有力な500社への投資の成果をまとめた結果です。

女性の役割を重視し、多くの女性が経営に参加する会社に、高い成長の可能性を見いだすことができると言えそうです。（株式会社グッドバンカー）